

---

# 株式会社メガチップス

2023年3月期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

# 目次

---

- 1. 2023年3月期 業績報告 ..... 3
- 2. 2024年3月期 業績予想 ..... 10
- 3. 2024年3月期・中期 経営方針 ..... 12

# 2023年3月期 業績報告

---

# 2023年3月期 連結業績(P/L)サマリー

当連結会計年度の売上高及び営業利益は、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が減少したため、前年度に比べ減少しました。ゲーム機分野以外では、新たな受託開発売上が発生し業績に貢献しました。

経常利益は、持分法適用の関連会社であるSiTime Corporationの持分法による投資利益が2.0億円、為替差益が6.4億円それぞれ発生し、73.1億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、関連会社であるSiTime Corporationの株式を一部売却したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が34.6億円発生し、70.8億円となりました。2023年3月22日公表の業績予想に対しては、ほぼ想定通りの結果となりました。

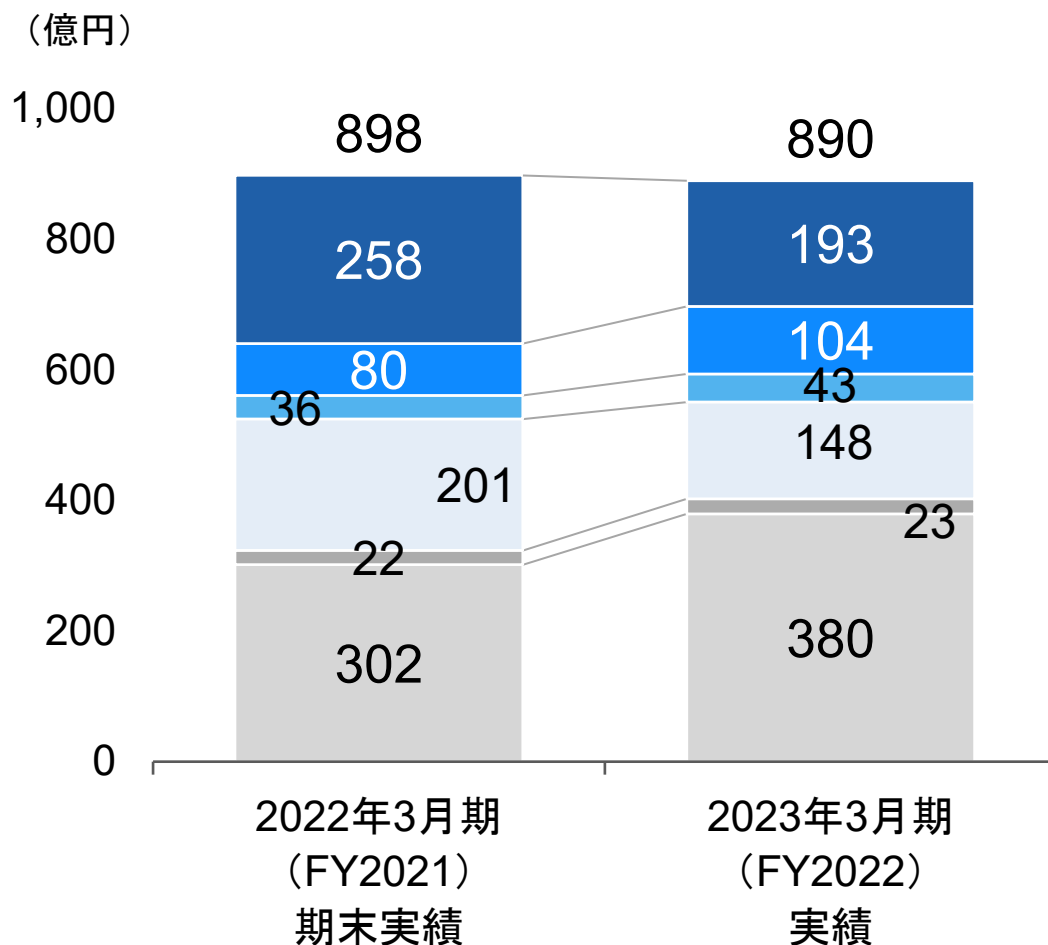
(単位:百万円)		2023/3期 (FY2022) 通期実績	2023/3期 (FY2022) 通期予想	対予想	2022/3期 (FY2021) 通期実績	対前年 同期比
連結	売上高	70,722	71,000	▲0.4%	75,256	▲6.0%
	営業利益	6,029	6,300	▲4.3%	7,030	▲14.2%
	経常利益	7,311	7,500	▲2.5%	7,857	▲6.9%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	7,086	6,900	+ 2.7%	27,544	▲74.3%
	1株利益(円)	369.40	359.46	+ 2.8%	1,349.01	▲72.6%

※2023年3月期 期末為替レート:米ドル 133.53円

※2022年3月期 期末為替レート:米ドル 122.39円

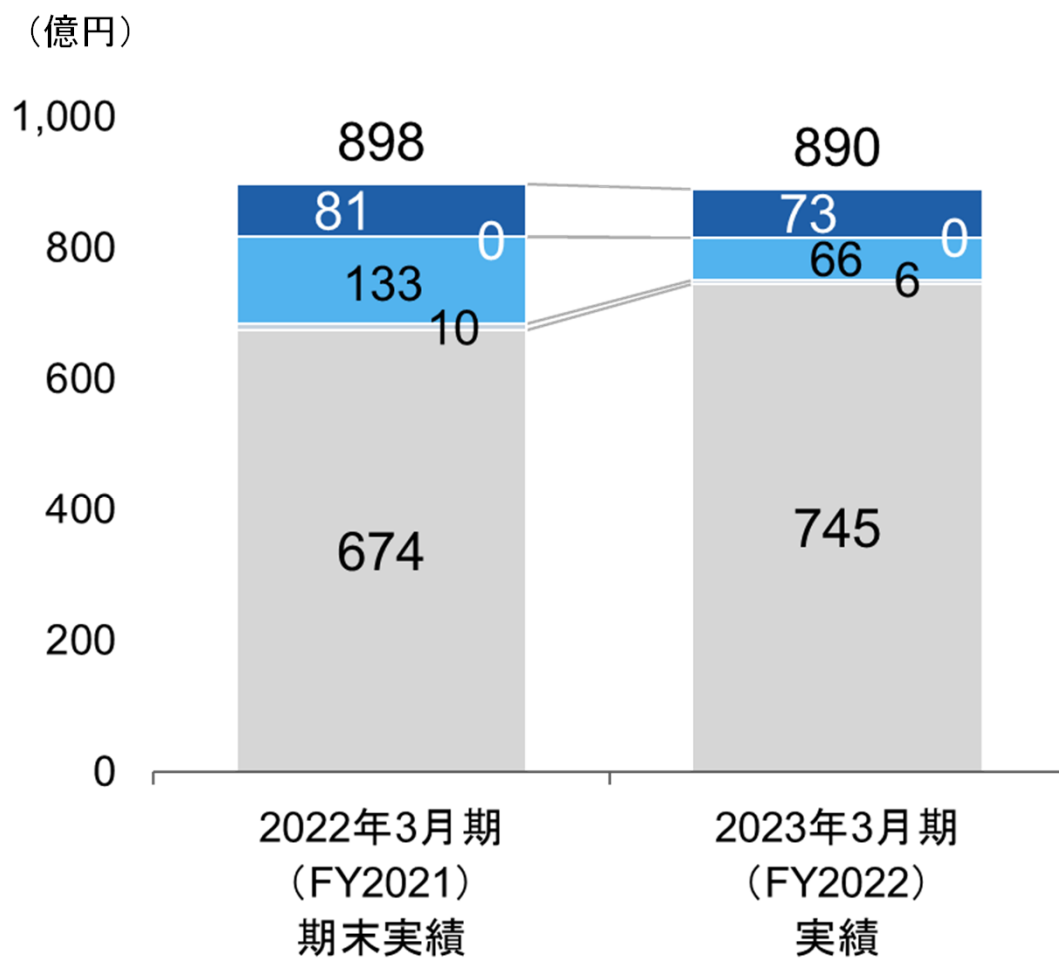
※2022年3月期は、関連会社であるSiTimeの株式を一部売却したこと及びSiTimeが新株発行増資を実施したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が292億円発生しています。

# 2023年3月期 財政状態(資産)



(単位:億円)	増減 (FY21→FY22)	増減率 (増減÷FY21)
現金及び預金	▲65.0	▲25%
受取手形及び売掛金	+24.0	+30%
たな卸資産	+6.8	+19%
その他の流動資産	▲53.0	▲26%
無形、有形固定資産	+1.1	+5%
投資その他の資産	+77.9	+26%

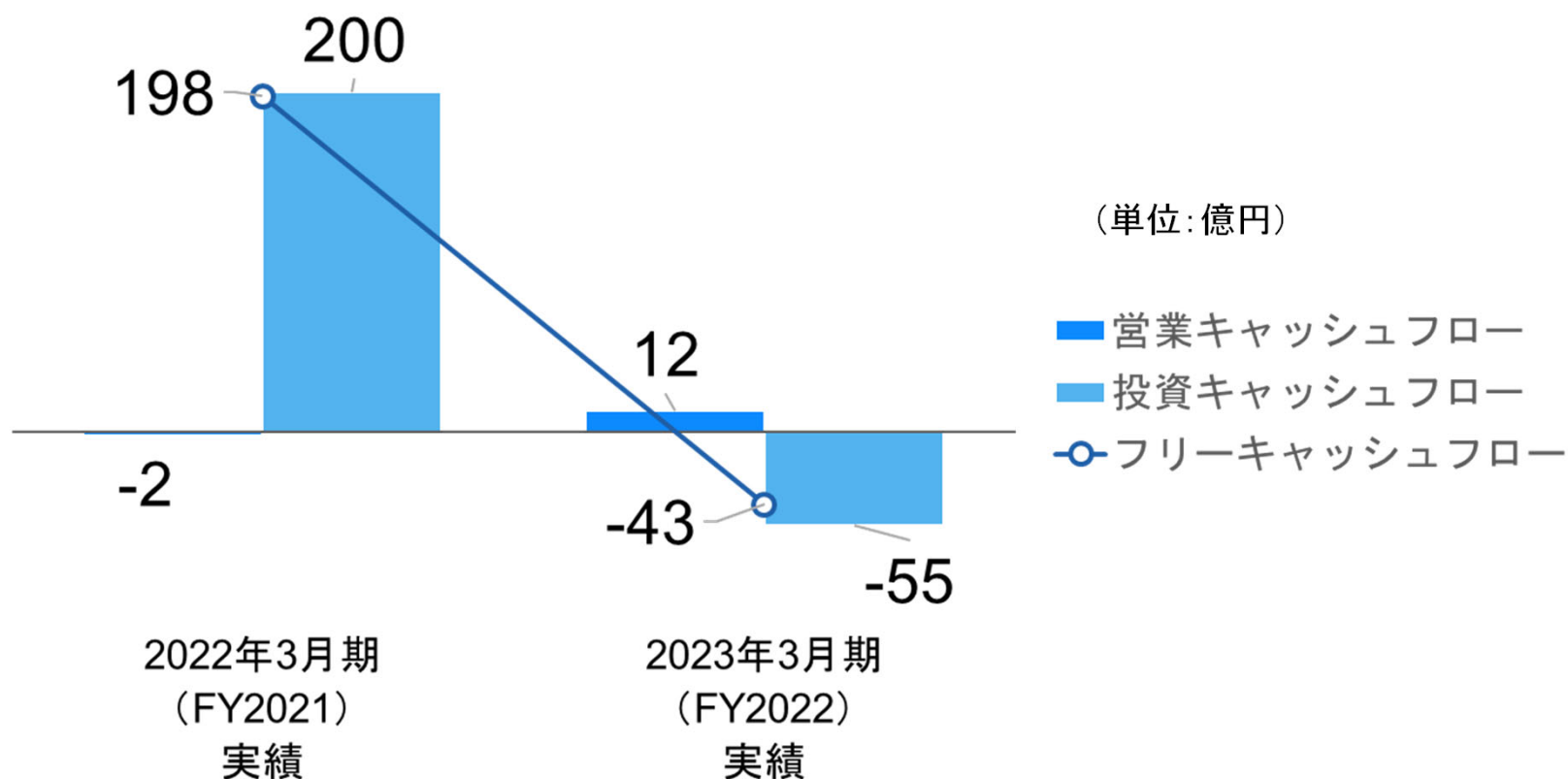
# 2023年3月期 財政状態(負債・純資産)



(単位:億円)	増減 (FY21→FY22)	増減率 (増減÷FY21)
支払手形及び買掛金	▲7.6	▲9%
有利子負債	—	—
その他流動負債	▲67.1	▲51%
その他固定負債	▲4.6	▲44%
純資産	+71.1	+11%

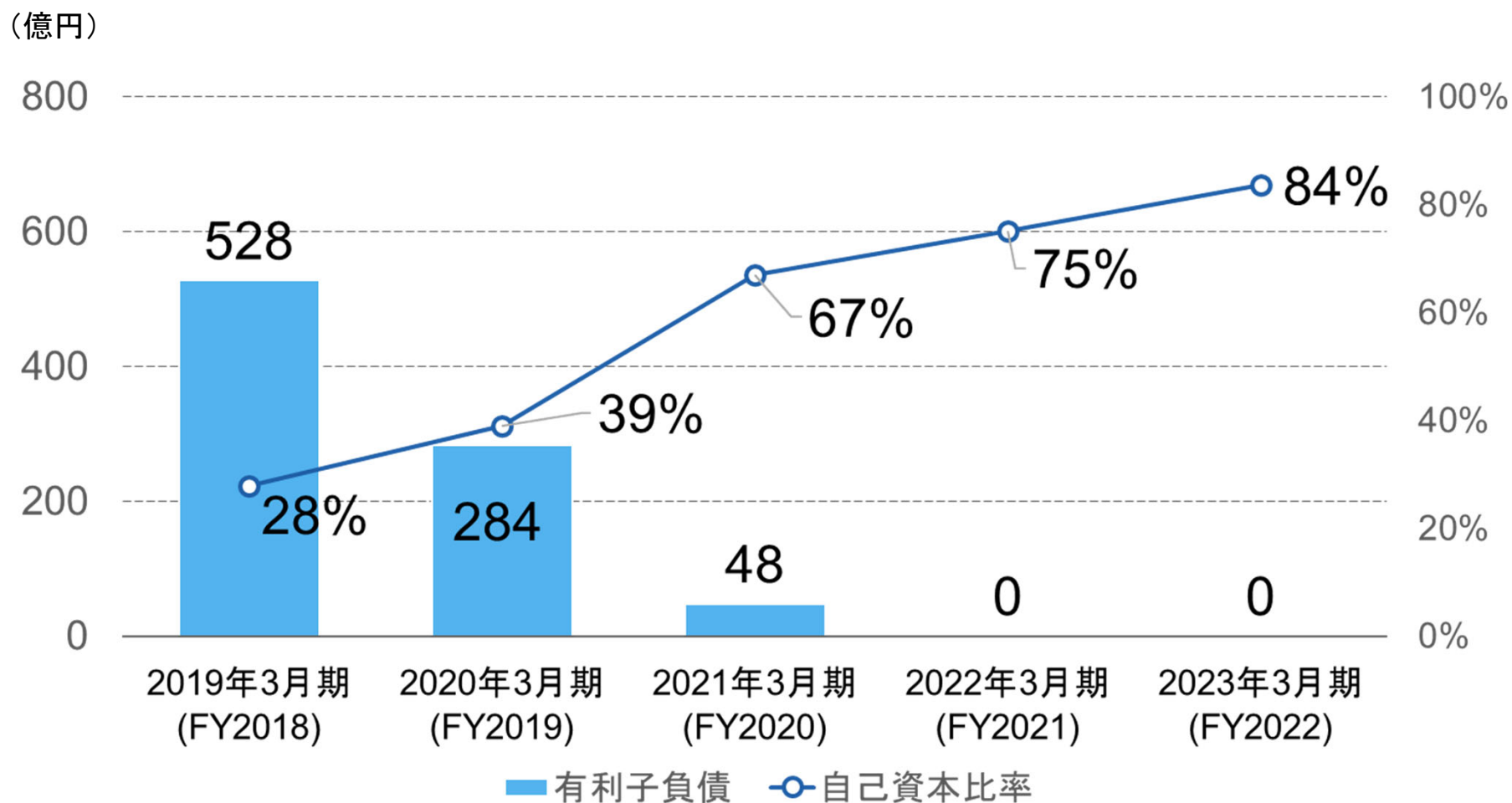
# 2023年3月期 キャッシュフロー

営業キャッシュフローおよび関係会社株式の売却利益により、投資キャッシュフロー資金を獲得しております。



# 2023年3月期 有利子負債及び自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります。





# 利益還元

持続的な利益還元と会社の成長をともに実現することに向け、当社の基本方針に基づき今後の会社の経営状況を勘案した上で積極的な利益還元に努めております。

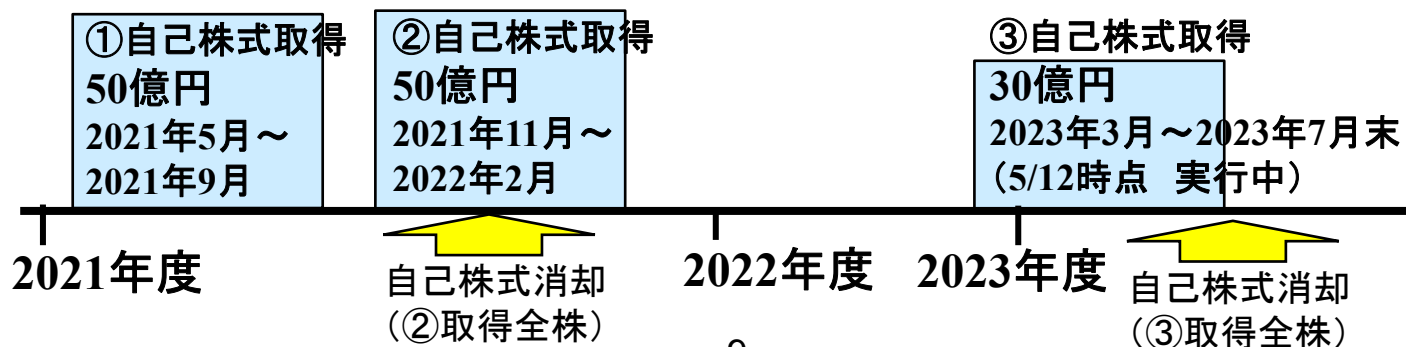
## 【剰余金の配当】

・当社配当方針に沿って、2023年3月期は90円(含特別配当40円)といたします。

	当期実施額 2023年3月期	前期実施額 2022年3月期
普通配当(円/1株)	50円	40円
特別配当(円/1株)	40円	50円
1株当たり配当金(円/1株)	90円	90円

## 【自己株式の取得及び自己株式の消却】

・資本効率向上のため、市場の状況、株価動向、財務状況等を勘案し、機動的に自己株式を取得し、株主の皆様へ還元するよう努めます。



# 2024年3月期 業績予想

---

# 2024年3月期 業績予想

中長期の成長分野への投資および安定した利益の確保を目指します。

(単位:百万円)		2024/3期 (FY2023) 通期予想	2023/3期 (FY2022) 通期実績
	売上高	70,000	70,722
	営業利益	5,800	6,029
連結	経常利益	5,200	7,311
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,300	7,086
	1株利益(円)	171.94	369.40

※ 2023年3月期は、関連会社であるSiTimeの株式を一部売却したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が34.6億円発生しました。

※ 2023年3月期 期末為替レート:米ドル 133.53円

※ 2024年3月期 前提為替レート:米ドル 130円

# 2024年3月期・中期 経営方針

---

# 中期経営計画

アミューズメント事業とASIC事業の基盤を強化し、新規事業を新たな柱へと成長させます。



## 目標(5年後の姿)

- ・ASIC事業及びASSP事業で、売上高の40%の構成を目指す
- ・ROE 継続的に8%以上を目指す
- ・PBR 早期の1倍以上の実現を目指す

# 1) 事業別中期計画(アミューズメント事業)

顧客密着型の提案活動を継続的に強化し、主要顧客・関連サプライヤーと良好かつ緊密な取引関係を維持することで、事業基盤の盤石化に注力します。

## 事業環境

変化の大きい  
半導体×アミューズメント業界

業界を支えるサプライヤーの役割が重要に

### ファブレスメーカー

安定した供給体制の維持

サステナビリティ向上  
のための情報連携

滞りのない  
サプライチェーン構築

### ファウンドリ

需要の変化に対応する半導体供給  
CSR調達方針の浸透

## 2025年に向けた中期計画

- 主力事業として引き続き事業基盤を盤石化
  - 顧客・関連サプライヤーとの良好かつ緊密な取引関係を維持
- 新規案件の獲得

## 主要顧客向け売上高

堅調な需要の継続を目指す

—— 本中計期間 —— 2025年 →

## 2) 事業別中期計画(ASIC事業)

顧客の課題を解決するソリューション提案力と、ワンストップの顧客支援を強みにASIC事業を展開していきます。

### 事業環境

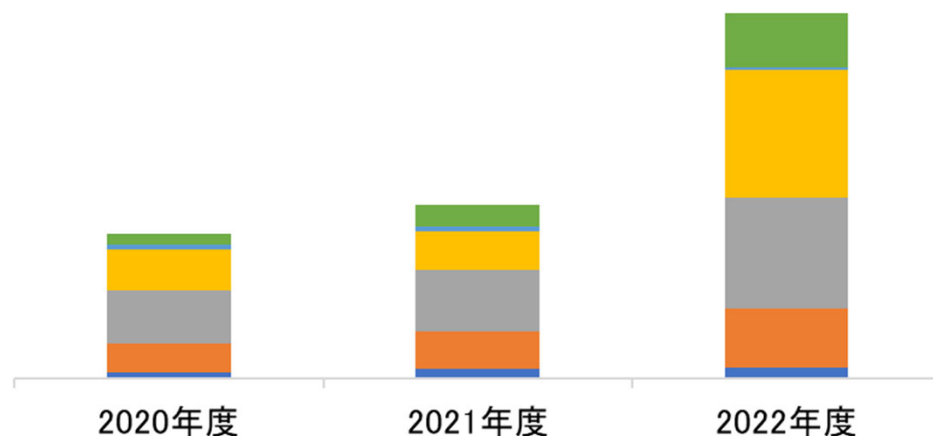
- 通信、画像分野などでASICの採用が期待される

#### ASICを取り巻く環境

- 顧客ニーズの多様化
- IoT, AIなど多様な技術の進歩

これまでの分野別ASIC売上高の推移

■ 産業 ■ 通信 ■ OA機器 ■ 画像 ■ 医療 ■ その他



### 2025年に向けた中期計画

- 顧客へ提供する付加価値の向上
  - ニーズに合わせた柔軟なソリューション提供
  - 上流設計、アナログ、先進通信技術の強化
  - ワンストップで顧客サポート
  - 設計の効率化によるコスト低減・期間短縮
- 産業、通信、OA機器、画像などを主体に事業展開
  - 新規事業とのシナジー創出

### 売上高成長

売上拡大を目指す

本中計期間

2025年

MegaChips

### 3) 事業別中期計画(新規事業 通信分野)

Morse Micro社との資本提携及び戦略的パートナーシップにより、通信分野において新市場の開拓や新ソリューションを提供する



- ◆低消費電力かつ長距離対応の新無線通信規格であるWi-Fi HaLow LSI及びWi-Fi HaLowに対応した無線モジュールの新ソリューションを提供する。

- ◆ターゲットアプリケーション

スマート工場



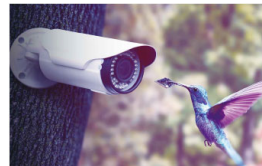
ホームネットワーク



スマート農業



鳥獣・災害監視

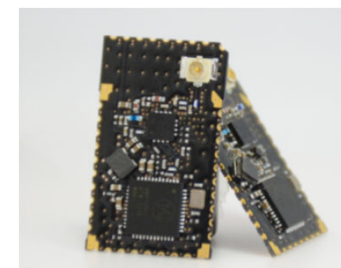


- ◆進捗状況

2022年度 4QよりWiFi-Halow LSI、評価キットのサンプル出荷を開始  
2023年度からLSI、モジュールの量産出荷開始を目指す。



Wi-Fi HaLow™  
RFモジュール



RFモジュール  
評価キット



MegaChips



## 4) 事業別中期計画(新規事業 ロボティクス分野)

当社の技術をコアにして、ロボット向けシステムの小型化・軽量化・低価格化に応えるソリューションを提供する

- (1) 当社の通信技術をコアにしたロボット向け有線通信モジュールを提供する。
- (2) 当社の半導体集積力と、パートナー企業が得意とする機械系技術を組み合わせ、システムの小型化・軽量化・低価格化に応えるソリューションを提供する。

### MotusLabsとの戦略的パートナーシップ

#### ◆MotusLabs

ロボット工学および産業オートメーション市場向けのギアリングソリューションを設計、製造、販売を手掛けているスタートアップ企業。日系メーカーを含む世界中のロボット製造会社とのコネクションを持つ。

#### ◆ターゲットアプリケーション

- ・産業用ロボット
- ・協調ロボット

#### ◆2025年度までに量産化を目指す



# IRポリシー

## ≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組めます。

## ≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

## ≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

# IRポリシー

## ≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

## ≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

## ≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

## ≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

## 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス

財務統括部 IR部

[ir\\_inquiry@megachips.co.jp](mailto:ir_inquiry@megachips.co.jp)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06 - 6399 - 2884(代) FAX: 06 - 6399 - 2886